



2022年3月24日

Glico グループは、 「存在意義（パーパス）」と、「ありたい会社の姿（ビジョン）」を 制定しました

Glico グループは、2022年2月11日（金）に創立100周年を迎えました。そして、この100周年を機に新たに「存在意義（パーパス）」と「ありたい会社の姿（ビジョン）」を制定しました。パーパスは「すこやかな毎日、ゆたかな人生」、ビジョンは「Glico グループは人々の良質なくらしのため、高品質な素材を創意工夫することにより、『おいしさと健康』を価値として提供し続けます」と決めました。

■新たに制定したパーパスとビジョン

存在意義（パーパス）	ありたい会社の姿（ビジョン）
すこやかな毎日、 ゆたかな人生	Glico グループは人々の良質なくらしのため、 高品質な素材を創意工夫することにより、 「おいしさと健康」を価値として提供し続けます。

当社は、創業者・江崎利一がカキの煮汁に含まれるグリコーゲンを入れた栄養菓子「グリコ」を創製、1922年に発売したことからスタートしました。栄養菓子「グリコ」は、栄養状態が十分でなかった時代に「食品による国民の体位向上」を目指した創業者の想いからうまれたのです。つまり、「事業を通じて社会に貢献し、より多くの人々の健康な毎日を実現することを追求し続ける」ことが当社の「創業の精神」です。これが「おいしさと健康」という企業理念へと受け継がれました。そして今回、変わらぬ創業の精神のもと、新たに存在意義（パーパス）、ありたい会社の姿（ビジョン）を決めました。これらの言葉は、生活者の皆さまがそれぞれの「すこやかな毎日、ゆたかな人生」を送れるよう、創意工夫により「おいしさと健康」を価値として提供し続けていくという当社の意思を表現しています。Glico グループはこれらを実現すべく、創業時から変わることのない健康への想いを更に進化させ、これからも挑戦してまいります。

■新たなコーポレートロゴマーク

なお、今回新たに制定した「存在意義（パーパス）」と社名を組み合わせたコーポレートロゴマーク（日本語版、英語版）を、順次グローバルに展開してまいります。



（日本語版）



（英語版）